

和歌山県紀の川市立安楽川小学校

(概要)

- ・ 児童生徒数（クラス数）：321 名（13 クラス）
- ・ 構造・階・面積・事業費：鉄筋コンクリート造、3階建て、4,458 m²、14 億円
- ・ エコスクールの事業タイプ：太陽光発電型、省エネルギー・省資源型、木材利用型
- ・ 整備期間：（検討期間：H19.9～H20.9、工事時期・期間 H20.10～H22.3）
- ・ 要旨
環境負荷の低減を図るとともに、校舎全体を教材として活用することで、子ども達自身が、環境問題に取り組んでいることを実感できる学校づくり。

(エコスクール化の内容)

- ・ 校舎屋上に太陽光発電設備(10kw)を設置、公共施設としての容量は小規模であるが、教材としての活用に重きを置いている。
- ・ 雨水貯水槽を地下に設け、トイレ洗浄水として利用。同時に、擬音装置の設置により節水効果を高めている。
- ・ 内装仕上げ材として紀州材(県産材)を使用し、内部空間にやすらぎと落ち着きを与えている。また、傷つきやすくも手入れによりなじみが出る木材の使用によって、自分たちの学校に対する愛着と、ものを大切にする心を育む空間を作り出している。



校舎全景



屋上階の太陽光発電設備。

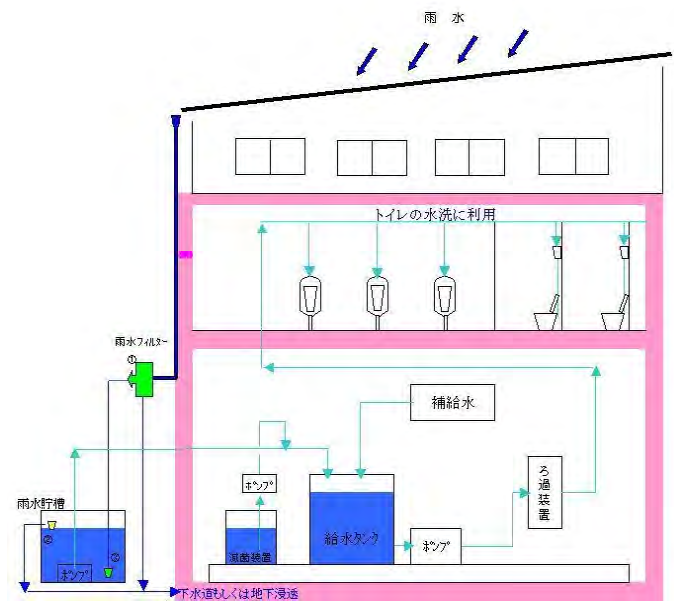


紀州材を使用し、温もりのある教室。

(エコスクール化の効果)

太陽光発電による CO2 削減量は、月平均約 319.2kg、石油の削減量に換算すると月平均約 230L の効果を得られた。(※1) また、雨水利用量は、使用開始からの水道使用量全体の約 26% を占めており、節水効果は大きい。

※1: 火力発電の原油消費量を 1kwh あたり 0.227L として計算。CO2 の削減量は、0.3145kg-CO2/kwh で計算。



雨水利用システム

(環境・エネルギー教育への活用)

日常の授業の様々な場面で環境教育を実施し、子ども達自身が、いま自分達には何が出来て、何をしなければならないかを考え、行動する授業に取り組んでいる。

学校生活では、使用しない部屋の消灯を心がける等、省エネに対して積極的に取り組む児童の姿が多くみられるようになってきた。



校内では、太陽光発電や雨水利用についての紹介を児童が作成し掲示。



太陽光システムについて学ぶ